

セラミックボード

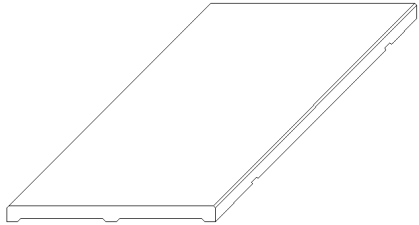
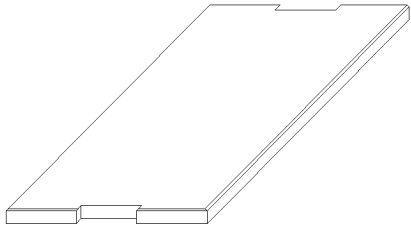
施工マニュアル



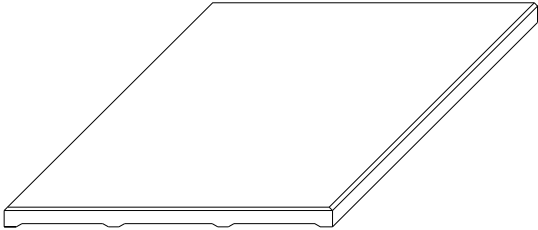
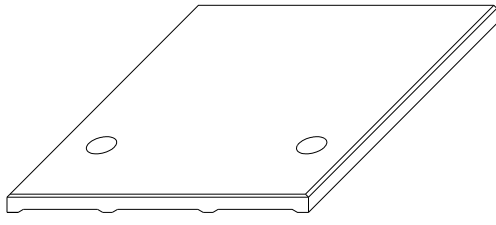
富士スレート株式会社

商品仕様

1.セラ・ミック・ボード (200×400) 本体概要

	平場用	側溝用
外観		
寸法 (mm)	200×400×15	
必要枚数/㎡	12.5 枚	
重量/枚	2.24 kg	2.7 kg
重量/㎡	28 kg (側溝用除く)	

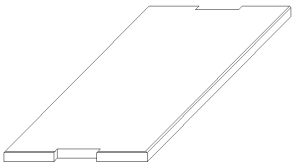
セラ・ミック・ボード (300×300) 本体概要



	平場用	側溝用
外観		
寸法 (mm)	300×300×18	
必要枚数/㎡	11.1 枚	
重量/枚	2.73 kg	3.30 kg
重量/㎡	30.33 kg (側溝用除く)	

2.カラーバリエーション

ソフトグレー	ソフトベージュ	アンティーク	ノーブルホワイト
--------	---------	--------	----------

3.部材一覧

本体 (平場用)	本体 (側溝用)	イグニッションテープ (不陸調整材)	T型ジョイナー (ジョイント)
			
一般部に使用	側溝部分に使用	1000mm×25mm× 1.0mm	L=1800

M2R(押出法)® リスルソーム板 ※現地調達品	シーリング材
 <p>※指定はございませんので、 同等品もしくは類似品にて 施工するようお願いいたします。</p>	
側溝部分の不陸調整に使用	ジョイナー固定に使用

4.認定番号

NM-3838（不燃認定番号）

5.注意事項

設計上のご注意

- 施工にあたっては、本マニュアルで記載されている事を守り、工事業者と密に打合せを行って下さい。
- 本製品を設置するベランダは閉鎖型とし、格子があり、風通しのよいベランダへの設置は行わないで下さい。
- 本製品は化粧材であり、防水材としての機能は有しておりませんのでご注意下さい。

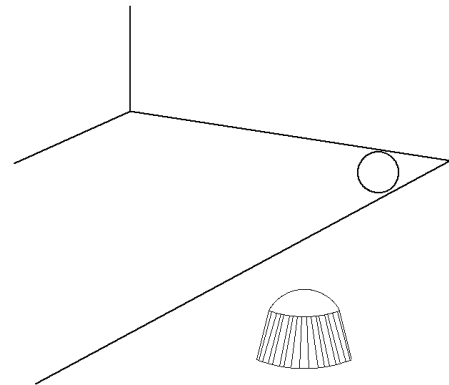
施工上のご注意

- ディスクグラインダーを使用して本製品をカットする場合、集塵機等を使用し、発生する粉塵に配慮して下さい。
- 本製品を施工中に、外装・内装を傷つけないよう配慮して下さい。
- 本製品・T型ジョイナーのカットを行う場合、ベランダ内で行わず、地面で行い、都度ベランダへ荷揚げするようにして下さい。
- 側溝の幅寸法が150mmを超える場合は、側溝用にて覆うことができませんのでご注意下さい。
- 本マニュアルは予告なく変更になる可能性があります。

施工手順 (イグニッションテープ工法)

1. 防水処理状況の確認

- 防水処理が確実にされているかの確認を行って下さい。
また、水抜用ドレンキャップは、セラ・ミック・ボードが覆い被さるため必要ありません。



水抜用ドレンキャップは必要ありません

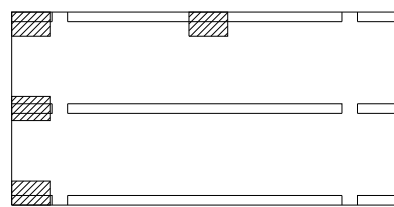
2. イグニッションテープの貼り付け

- 不陸がある場合、イグニッションテープを適度な長さにカットし、セラ・ミック・ボード本体へ貼り付けて下さい。

※ 側溝用も同箇所への貼り付けを行って下さい。

※ 不陸が大きい場合は、イグニッションテープを増し貼りして不陸を調整して下さい。

イグニッションテープ貼り付け例



3. セラ・ミック・ボードの設置

- セラ・ミック・ボードは基本的に千鳥模様に並べて下さい。
そのため、偶数段の始まりのセラ・ミック・ボードは半分にカットし使用して下さい。

※ セラ・ミック・ボードは水下側(部屋から見て奥)より設置して下さい。また、側溝がある場合は、側溝用を使用して下さい。

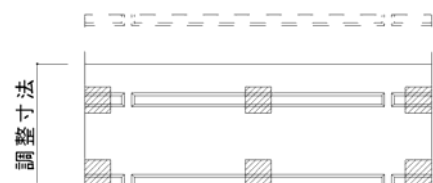
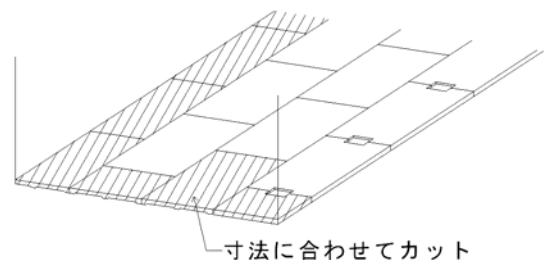
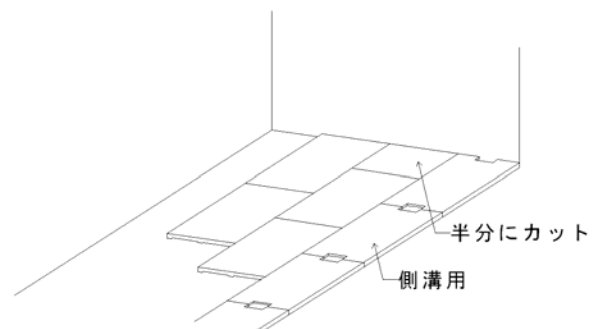
※ 側溝部分の施工は、側溝用の施工を参照して下さい。

※ カットはディスクグラインダーを使用して下さい。

- 並べていった最後のセラ・ミック・ボード、最部屋部のセラ・ミック・ボードを寸法に合わせてカットして下さい。

※ 不陸が大きい場合は、イグニッションテープを増し貼りして不陸を調整して下さい。

※ 最部屋部のカットしたセラ・ミック・ボード裏面のイグニッションテープは出っ張り部に貼るようにして下さい。



出っ張り部分に貼り付け

セラミックボードの設置(オプション仕様)

●T型ジョイナーを使用する場合は、T型ジョイナーの寸法分控えて割付けを行い、施工して下さい。

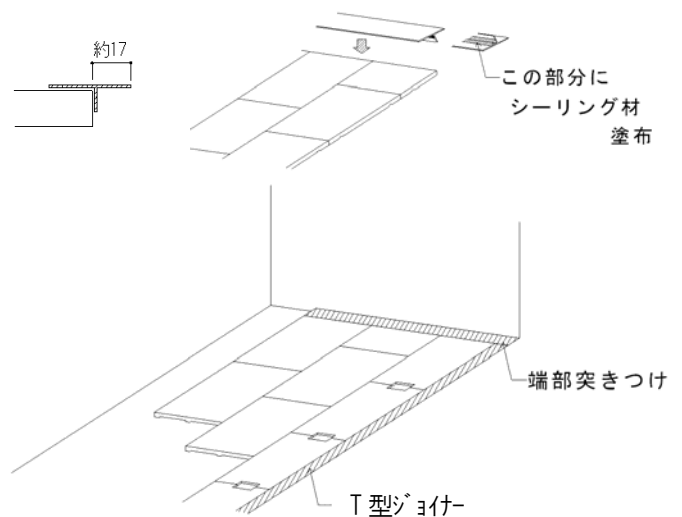
●T型ジョイナーは、シーリング材を塗布し、セラミックボードに接着して下さい。

※シーリング材が表面にでてこないように注意して下さい。

●端部は寸法に合わせてカットして下さい。

※コーナー部分は突きつけとなります。

※外壁見切り材がある場合はT型ジョイナーは不要です



側溝用の施工

●側溝の幅寸法が150mm以内であることを確認して下さい。

●M2Rを側溝の高さに合わせて切断し、側溝に貼り付けて下さい。
その際、が側溝用の両端を受けるように貼り付けて下さい。(右図参照)

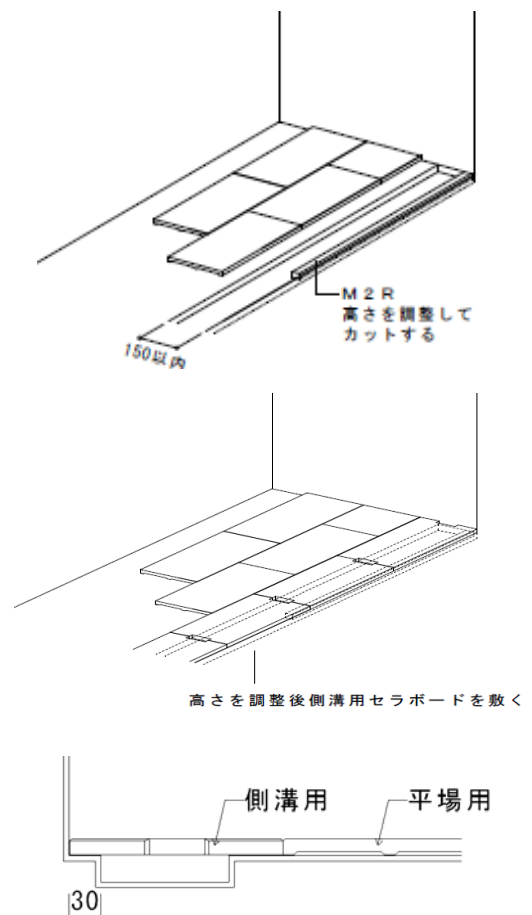
※M2Rはカッターにて切断して下さい。

※高さのレベルがM2R1段で足りない場合は2段重ねて使用し、必ず高さを合わせて下さい。
重なり部分はシーリング材で接着して下さい。

●側溝用を設置して下さい。

●設計上可能であれば、受け台(幅30mm)を設ける事でM2Rは不要となります。(右下図参照)

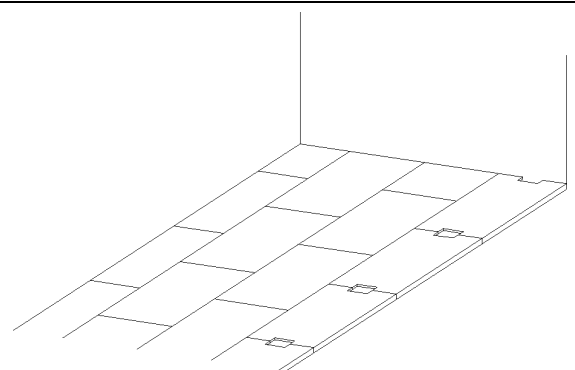
※側溝の幅寸法は150mm以内として下さい。



4.施工確認、清掃

●施工完了後、現場の清掃を行って下さい。

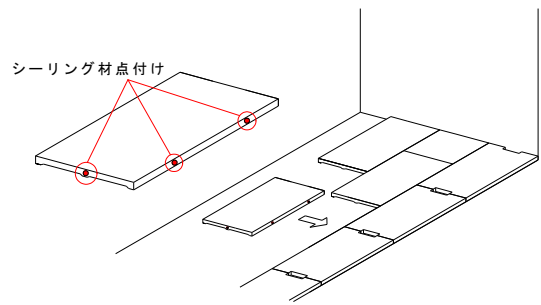
●施工完了後、不陸がないかを確認して下さい。
また、割れ・かけ等がない事も確認して下さい。



※ワンポイントアドバイス

●施工する際、シーリング材をセラミックボードの側部へ左図のように点付けして施工するとずれ等なく仕上げることができます。その際、シーリング材が表面(見える範囲)まではみ出ないように注意して施工してください。

※はみ出たシーリング材は綺麗に拭き取るようお願いします。



写真

